

株式会社 大橋金属工芸

2020 年度 環境経営レポート

(対象期間: 2020 年3月1日～ 2021 年2月28日)



作成日: 2021年3月10日
更新日: 2021年5月31日

目 次

項 目	ページ
ごあいさつ	3
環境経営方針	3
組織の概要	4
事業・製品の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	6
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	9
緊急事態対応訓練	9
代表者による全体の評価と見直し・指示	10
これまでの環境活動の紹介	10

□ごあいさつ

表彰商品のスペシャルカンパニーとしていつまでも心に残る人生の証を商品にして提供しています。「喜びをかたちに」お金では買えない栄誉を与え、さらなるモチベーションをあげるために、勲章といえる弊社の賞品をどうぞご利用ください。カタログ掲載の賞品はバリエーション豊富で必要な時におとどけすることをモットーにしています。また、お客様のオリジナルで生産する賞品は、専門のデザイナーが表彰商品から参加章、販促品まで幅広く対応し、ご要望に合ったデザインを提案いたします。進化する「WORLD EAGLE（ワールド イーグル）」は、お客様と一緒に未来に向かって大きく飛躍してまいります。エコアクション21によって企業価値向上を目指していききたいと思います。

環境経営方針

<環境経営理念>

未来社会の発展と豊かな人生を目指し、本業である表彰品・記念品の生産を通じて、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に自主的・積極的に取り組みます。

環境にたいする社会の取り組みの変化に順応に対応し、効率よく、無駄なく、タイムリーにお客様に感動を与えるサービスと商品を提供することが当社の一番の環境対策と考えて、会社一丸となって継続的に環境活動に取り組んでまいります。

<環境保全への行動指針>

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 創意工夫による省エネルギーにより電力・自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減に努めます。
3. 廃棄ロスをなくす等適正時の在庫管理の徹底し、廃棄物の発生抑制に努めます。製造数の管理（重複等ないように）を行い、必要時に必要量のみ購入の徹底。
4. 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
5. 廃インクの適正管理に努めます。
6. 環境に配慮した材料により製品を企画し、お客様にお届けします。
7. SDGs に適合した企業価値向上を目指します。
8. 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。



制定日：2020年10月1日

改定日：2020年10月30日

代表取締役 **大橋正起**

□組織の概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社 大橋金属工芸
代表取締役 大橋 正起

(2) 所在地

本 社 大阪市天王寺区清水谷町4番10号
第二ビル 大阪市天王寺区清水谷町9番3号
東京支店 東京都台東区台東2-1-3 センチュリービル3階

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 統括部長 藤原 成徳 TEL：06-6761-3936
担当者 総務課長 岩元 亮二 TEL：06-6761-8952

(4) 事業内容

表彰商品の製造卸、各種イベント商品企画制作・ノベルティグッズの販売

(5) 事業の規模

売上高 9.9 億円 (2020年度実績)

	本 社	第二ビル	東京支店	合計
従業員 名	45 名	6 名	7 名	58 名
延べ床面積 m ²	1775.36 m ²	762.61 m ²	111.01 m ²	2,649 m ²

(6) 事業年度

3 月 1 日 ~ 2 月 28 日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：株式会社 大橋金属工芸
対象事業所：本 社
第二ビル
東京支店

対象外：なし 全社全活動認証範囲
活動：表彰商品の製造卸、各種イベント商品企画制作・ノベルティグッズの販売

□事業や製品(商品)の紹介

表彰商品(トロフィー・メダル等)および記念品(周年記念や卒業記念等)の製造を営み、スポーツから文化に至る幅広い市場を対象としています。
社内体制は、デザイン提案から納品まで一連の流れで、協力工場は国内外に有し、海外製品は、貿易部にて迅速に対応しております。

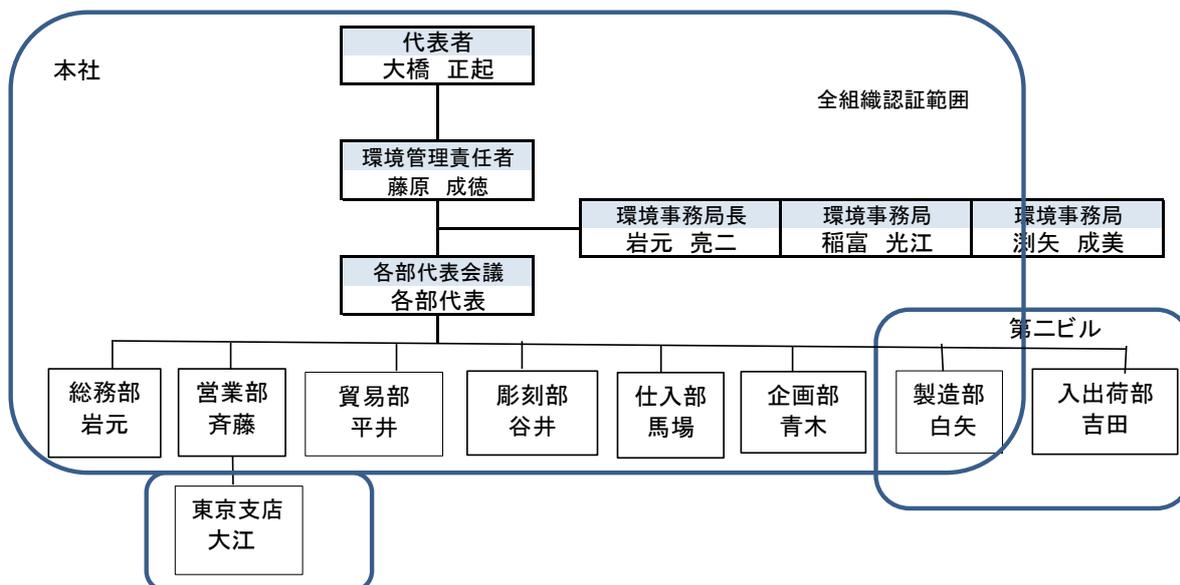
社内部門 経営企画室・総務部

営業部(本社/東京支店)・企画部・仕入部・貿易部・彫刻加工部・製造部・出入荷部
製品：



□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2020年10月30日



役割・責任・権限	
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 環境管理責任者を任命 環境経営方針の策定・見直し 環境経営目標・環境経営計画書を承認 代表者による全体の評価と見直し、指示 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境経営目標・環境経営計画書を確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、各部代表会議の事務局 環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成、公開(事務所に備え付けと地域事務局への送付)
各部代表会議	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営計画の審議 環境活動実績の確認・評価
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 試行・訓練を実施、記録の作成 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2018年	2019年	2020年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂		108,106	84,989
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	トン		11.88	11.55
混合産業廃棄物排出量	トン		16.00	27.00
水使用量	m ³		815	651

※二酸化炭素排出係数 0.44 kg-CO₂/kWh 電力会社の調整後の係数

□環境経営目標及びその実績

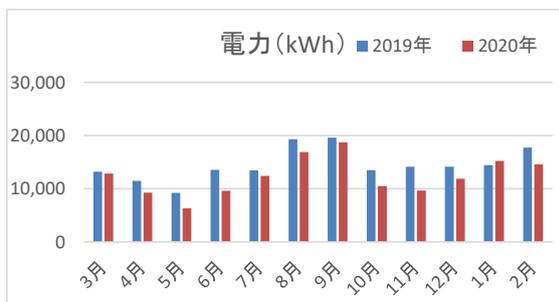
項目	年度	単位	2019年			評価	2021年		2022年	
			(基準値)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)		
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	原単位	74,902	73,404	65,159	○	72,655	71,906		
			基準年度比		98%	87%		97%	96%	
			kWh/千円	0.096	0.094	0.149	×	0.093	0.092	
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	基準年度比	33,171	32,508	19,800	○	32,176	31,845		
			2019年	98%	60%		97%	96%		
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂		108,073	105,912	84,959					
一般廃棄物の抑制	トン	基準年度比	11.88	11.52	11.55	×	11.52	11		
				97%	97%		97%	96%		
混合産業廃棄物の抑制	トン	基準年度比	16.0	15.7	27.0	×	16	15		
				0.98	169%		0.97	0.96		
水道水の削減	m ³	基準年度比	815	799	651	○	791	782		
				98%	80%		97%	96%		
廃インクの適正管理	活動目標(内容は「□環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画」参照)									
環境に配慮した製品の提供	活動目標(内容は「□環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画」参照)									
SDGs に適合した企業価値向	活動目標(内容は「□環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画」参照)									

□環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

数値目標: ○達成 ×未達成

活動: ◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	総量では12%の減少となった。空調温度の適正化に取り組み定着できたこと、営業時間が減ったことによる電気使用電力が減少したことが大きな要因と思われる。一方原単位では増加となっているのは、売上は減少しているものの、内製化に伴い機械を稼働させ続けている為に増加となっている。次年度の取組計画としては、LEDの設置増と点灯センサーによる電力使用の無駄を省く。
・空調温度の適正化(冷房25℃ 暖房23℃)(共)	○	
・不要照明の消灯 スイッチに表示・間引き(共)	○	
・部分的にLEDの設置(共)	△	
・つなぎコンセントのスイッチタイプに切替(本)	○	
・サーキュレーターを設置(共)	○	



取組紹介欄



	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
2019年	13,216	11,483	9,215	13,566	13,473	19,333	19,611	13,502	14,175	14,175	14,456	17,756
2020年	12,856	9,285	6,325	9,619	12,441	16,931	18,739	10,520	9,663	11,883	15,222	14,605

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	営業活動時間の減少に伴い、車の使用時間自体が減少傾向にあるため、大幅なCO2の削減に繋がった。今後は営業活動が活性化してきても、担当者のエコドライブの意識向上を目指していきたい。次年度の取組計画としては、電気自動車を検討し、採用を目指す。
・アイドリングストップ（本）	○	
・効率的なルートで配送（本）	○	
・エコドライブの教育（本）	○	

ガソリン(L) ■2019年		取組紹介欄												
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月		
2019年	1,205	1,138	1,117	1,167	1,190	1,363	1,349	1,314	1,212	1,268	933	1,042		
2020年	881	488	320	479	724	654	983	934	1,019	959	556	537		

一般廃棄物の抑制	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	現状はゴミの量を把握するにとどまっているため、ゴミの分別徹底と再利用の推進。次年度の取組計画としては、販売管理システムでデータ化し管理することでペーパーレスの積極的推進を行い次年度に成果を出したい。
・分別の徹底（共）	○	
・シュレッダー廃紙のリサイクル化（共）	○	
・ペーパーレス 帳票見直し・営業資料の	○	
・商品個々のビニール袋使用の見直し（2ピ	×	

一般廃棄物(t) ■2019年 ■2020年		取組紹介欄												
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月		
2019年	0.99	0.99	0.99	0.99	0.99	0.99	0.99	0.99	0.99	0.99	0.99	0.99		
2020年	0.99	0.99	0.99	0.99	0.99	0.99	0.99	0.99	0.99	0.97	0.79	0.88		

混合産業廃棄物の抑制	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	作業ミスによる廃棄物を減少させるべく、各作業段階における注意事項を貼り出して注意喚起に努めている。ゴミの素材別ボックスを配置して徹底している。次年度の取組計画としては、入荷先への不良品の改善による指導を行い、今後廃棄物を削減させる。
・作業ミスによる廃棄量の削減（2ピル）	○	
・素材別ボックス/置場所の設定（2ピル）	○	
・必要時に必要量のみ購入の徹底（共）	○	

産業廃棄物(t) ■2019年 ■2020年		取組紹介欄												
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月		
2019年	7.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
2020年	0.00	9.00	0.00	18.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画																																							
数値目標	○	使用量は基準年度の8割程度となっている。これは営業時間が減少していることと、トイレに擬音装置を付けたり、節水シールによる全員の意識改革の成果も現れている。次年度の取組計画としては、自動洗浄装置を設置してトイレの節水に努める。																																							
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○																																								
・トイレに擬音装置利用（共）	○																																								
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p style="text-align: center;">水道水(m³) ■ 2019年 ■ 2020年</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>3月</th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2019年</td> <td>70</td> <td>71</td> <td>64</td> <td>73</td> <td>63</td> <td>76</td> <td>60</td> <td>61</td> <td>66</td> <td>70</td> <td>70</td> <td>71</td> </tr> <tr> <td>2020年</td> <td>70</td> <td>68</td> <td>46</td> <td>45</td> <td>52</td> <td>51</td> <td>44</td> <td>52</td> <td>53</td> <td>56</td> <td>63</td> <td>51</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div style="width: 50%;"> <p>取組紹介欄</p> </div> </div>				3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	2019年	70	71	64	73	63	76	60	61	66	70	70	71	2020年	70	68	46	45	52	51	44	52	53	56	63	51
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月																													
2019年	70	71	64	73	63	76	60	61	66	70	70	71																													
2020年	70	68	46	45	52	51	44	52	53	56	63	51																													

廃インクの適正管理	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・有害性物質の表示の徹底（本）	○	売上との関連があるので減少目標は立てていないが、インクの使用・管理については適正に行っている。引き続き作業ミスの使用量は減少に努めていく。次年度の取組計画としては、必要なだけ購入してムダを省いていく。
・容器の蓋の徹底（本）	○	
・作業ミスによる使用量増加の抑制（本）	○	
・代替物質の検討（本）	×	
<p>取組紹介欄</p> <p>廃インク容器については丸菱塗料様に容器の引き取りの依頼をしている。容器蓋については徹底済。写真参照のこと。作業ミスについては廃インクの適正管理をする上においてもムダになるので今後も徹底させてゼロを目指す。新カタログの印刷には大豆インクを使用する予定。</p>		

環境に配慮した製品の提供	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・FSC認証材の使用（商品の箱）（本）	×	新カタログは2022年4月に発刊、配布予定。新カタログではFSC認証材の商品を一部でも企画して採用していき、ビニール袋についても、採用を検討する。
・ビニール袋使用商品の限定（本）	×	
・売上に対する廃棄率削減（本）	○	
<p>取組紹介欄</p> <p>次回カタログ商品からは、光学ガラス製商品については全てビニール袋を無しにする予定。トロフィーケースから順次FSC認証材入替え予定。</p>		

SDGsに適合した企業価値向上	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・企業PRによる顧客獲得（ホームページ改）	×	作る責任・使う責任を考えて環境に配慮した商品を開発していき、ホームページにおいても、商品だけではなく、企業価値を高めるPRを推していく。次年度の取組計画としては、リサイクル金メッキの推進、異業種との連携取組の推進。
・新しい設備による新製品・商品開発	×	
・SDGsの社内研修	○	
<p>取組紹介欄</p> <p>都市に眠る使用済みのスマホやパソコンの基盤から高純度の金を抽出することから都市鉱山(リサイクル金メッキ)と呼ばれ、持続可能な消費と生産のパターンを目標とした商品を企画しています。この活動は、天然鉱山からの発掘時の環境負荷を大きく減らす取組みでもあり、環境を配慮した活動と位置付けられています。都市鉱山からの金を使用したリサイクル金メッキを“エンカルゴールド”と名付け、メダル・タイピン・バッジ・表彰プレート等に企画して、持続可能な社会を目指し、貢献で</p>		

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（混合）
騒音規制法	空気圧縮機
労働安全衛生法	SDS対象物質（リスク評価）
消防法	火災予防・省か設備（定期点検）
フロン排出抑制法	業務用空調機
顧客要求事項	コロナ対策（衛生管理）、個人情報管理（保護規定の遵守）、環境マネジメントシステム導入

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定： 火災の発生	
■実施日： 2020/12/28	■実施場所 本社ビル
■参加者： 本社社員48名	
■実施内容： <input type="checkbox"/> 通報訓練 <input type="checkbox"/> 消火訓練 <input checked="" type="checkbox"/> 避難訓練	
■評価：	手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
非常放送を電話の館内放送で実施。全員が避難完了するのに要した時間は4分45秒でした。非常階段に集中するので、第二ビルより少し時間は要した。誘導方法の工夫が必要と思われます。今後も全館禁煙・火気厳禁で予防に努めたい。	
■実施状況の様子	
	

緊急事態の想定： 火災の発生		
■実施日： 2020/12/28	■実施場所 第二ビル	
■参加者： 第二ビル社員9名		
■実施内容： <input type="checkbox"/> 通報訓練 <input type="checkbox"/> 消火訓練 <input checked="" type="checkbox"/> 避難訓練		
■評価：	手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	
非常放送を電話の館内放送で実施。全員が避難完了するのに要した時間は2分35秒でした。今回は初めてで避難訓練だけの実施で問題なく終了出来ました。次回は消火訓練の勉強をしたいとの声も上がりました。		
■実施状況の様子		
		

【前回の指示への取組結果】	
<情報>	<見直し・指示>
<p>◇自社を取り巻く環境問題の変化</p> <p>脱炭素社会が問われる社会環境となり、省エネ社会を目指す必要がある。2025年の万博では、SDGsの達成を掲げ、日本の脱炭素社会、省エネ社会の取り組みを世界に発信する。我社の商品は、環境に取り組む多くの企業にご利用いただく以上は、脱炭素に取り組んで生産された賞品がふさわしい価値のあるものと考えています。</p>	<p>◇環境方針</p> <p>地球温暖化問題及び地域の環境活動に積極的に取り組みます。具体的には、脱炭素を念頭に、電気・ガソリン・廃棄・水道の節約と環境に適合する素材を活用することとします。</p>
<p>◇環境経営目標・計画の達成状況</p> <p>電力による二酸化炭素削減は、目標を達成したが、原単位は未達となった。自動車燃料による二酸化炭素削減は目標を達成した。廃棄は、生産に関係するため成果をだすには時間が必要となる。節水は成果がでている。</p>	<p>◇環境経営目標・環境経営計画</p> <p>電力の原単価を下げるために、新電の切替を実施。混合産業廃棄と廃インクの抑制は、正確な加工指示を徹底し不良率を減少する。一般廃棄物の削減は、ペーパーレスを目標にデジタル化の推進を図る。</p>
<p>◇その他</p> <p>環境に関わる利害関係者からの苦情や要望は受けていない。独自でビニール袋の削減と環境を考慮した商品の推進を図る。</p>	<p>◇実施体制他</p> <p>商品を限定する必要はあるが、ビニール袋の廃止と、FSC認証材のケースを使用することで環境保護に対応する。</p>
<p>2020年10月に環境経営方針を全社員に打ち出し、環境保護に寄り添う企業価値は評価され、社員の仕事が営利をひたすらに追求する企業との格差を生むものと確信しています。環境保護の一環として、業界初のリサイクル金メッキ(都市鉱山)の商品化を進め業績の向上を図ります。環境保護がビジネスチャンスにつながっていきます。さらに企業を継続するためにも次のステップとして、BCPの取得を目指します。</p>	



- | | | | | | |
|-----------|-------------------------------------|------|-------------------------------------|------|--------------|
| 環境経営方針 | <input checked="" type="checkbox"/> | 変更なし | <input type="checkbox"/> | 変更あり | |
| 環境経営目標・計画 | <input type="checkbox"/> | 変更なし | <input checked="" type="checkbox"/> | 変更あり | 実績を踏まえて見直すこと |
| 実施体制他 | <input checked="" type="checkbox"/> | 変更なし | <input type="checkbox"/> | 変更あり | |

□これまでの環境活動の紹介



社員の声

- ・環境について少しずつ知識を増やし、自分自身も出来る事を探し続けたいと思います。
- ・弊社では商品の一部でリサイクル金メッキを使用し、環境への配慮を行い、社内でも節電、節水などの取り組みがされています。2025年に万博を開催する大阪で環境問題に前向きな企業であることを発信していきたいです。

□編集後記

エコアクション21の活動を始めた頃は、どのようなことから取組んでいけば良いのかわからず戸惑いもありました。ですが、環境へ配慮した取組みを学んだり社内ではどう取り入れるのかを議論したりするなど、環境委員会内での研修を通して理解を深める事が出来ました。この活動を始めてから、社内での意識も高まったと思います。次回のレポート作成では、さらに改善できる部分を探しながら、よりよい企業へと成長していけるように活動してまいります。ご協力いただきまして、有り難うございました。

2021年3月10日 環境委員会 事務局